

滝馬川砂防激甚災害対策特別緊急事業

(宮津市滝馬)

滝馬川の流域には、いくつも土石流危険渓流があり、平成16年の台風第23号の豪雨により、土石流が発生し、死者2名、全壊10戸・半壊2戸・一部損壊3戸の被害を受けました。現在でも流域内には崩壊地が存在し、大量の不安定土砂が溪床に堆積しています。

このため、今後の豪雨によって、再度土石流が発生する恐れがあり、緊急的な対策の必要性から、平成16年度に災害関連緊急砂防事業を実施しました。

平成17年度からは砂防激甚災害対策特別緊急事業により、流域の抜本的な土石流対策を実施しています。

平成18年度は砂防堰堤2基を施工します。

◎事業概要

全体計画	⑰までの実績	⑱計画
H16～H19(⑱は災関) 砂防堰堤7基、流路320m 事業費 10億7,100万円	砂防堰堤3基(滝馬2・3) 事業費 3億8,100万円	砂防堰堤2基(滝馬A・C) 事業費 3億4,000万円

◎事業効果

土石流災害から下流保全対象の人家約180戸、公民館、高等学校などの安全を確保します。

◎流域及び施工状況

